

“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2015」応募作品概況

国内外から 217 作品が集まる

- 国内から 141 作品：10・20代と60代以上のシニア層が多数、ドキュメンタリー中心の作品群
- 海外から 76 作品：20・30代を中心に、アニメ／ドラマ／アート等バラエティー豊富な作品群
- 12月上旬に入賞作品を決定・発表、同時に公式 HP で公開配信もスタート（予定）

特定非営利活動（NPO）法人 市民がつくる TVF（代表理事：小林はくどう）が主催する“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2015」（TVF2015）には、国内外から 217 作品（国内：141 作品（26 都道府県）／海外：76 作品（ドイツ：75／香港：1））が寄せられました。

応募作品は今後、審査段階に移ります。審査は「1 次審査」を経て、「本審査」（入賞審査、公開審査／トークフォーラム（後述））へと進めていきます。

入賞審査の結果発表は 12 月上旬を予定。入賞 30 作品（「優秀作品賞」：10 作品、「佳作」：20 作品）を決定・発表し、同時に、当法人の公式 HP にて入賞作品の公開配信をスタートします。また、NPO サポーターによる「サポーター賞」の投票受付も行います。

最終審査の発表の場となる「発表・表彰式／上映会」は 2015 年 1 月 17 日（土）、日本工学院専門学校（東京都大田区）で開催予定です。今回を象徴する作品に贈られる「ビデオ大賞」（1 作品。「優秀作品賞」から選出）が当日、入賞者やビデオファンが集う会場で、審査委員会による公開審査／トークフォーラムを経て、その場で決定・発表されます。

<応募作品の傾向>

1. 応募者の年齢別傾向

応募者全体を年齢別で見ると、コア層は 10～30 代で全体の約 6 割を占めています。これは、国内からは 20 代までの若い世代、海外からは 20・30 代の応募が多かったことによります。

1) 国内の傾向：10・20 代（高校生・大学生中心）と 60 代以上のシニア層が中心

国内からは 141 作品が寄せられました。特徴として、学生を中心とした 20 代までの世代から 52 作品、60 代以上のシニア世代から 53 作品が集まり、国内応募の約 75%を占めたことが挙げられます。学生の応募は、高校生（24 作品）と大学生（23 作品）が多数となっています。

2) 海外の傾向：20・30 代が中心

海外は、ドイツからの団体応募 75 作品と香港からの個人応募 1 作品。多数の作品が寄せられたドイツからの応募を見ると、20・30 代が約 8 割を占めています。

2. 作品内容の傾向

国内は身近な地域から広く社会等に目を向けたドキュメンタリー作品が多数となっています。一方、海外作品はアニメからドラマ、ドキュメンタリーまでジャンルも多彩です。

1) 国内の傾向：「地域」や「戦争と平和」等に目を向けたドキュメンタリー作品が目立つ

国内からの応募作品は全般的にドキュメンタリーが中心。テーマとしては、地域創生／再生や街づくり、戦争と平和、被災等があり、また、こうした作品にはじっくりと、丹念に撮影されたものが目立ちました。また、自分の心をありのままリアルに描く、自己表現に優れた作品が多く見られることも特徴のひとつです。

2) 海外の傾向：多彩なジャンルのバラエティーに富んだ作品群

海外から寄せられた作品はジャンルが多彩。アニメやドラマを中心に、アートからドキュメンタリーまでバラエティーに富んだ作品群となっています。

<「東京ビデオフェスティバル」審査委員（50音順・敬称略）>

大林 宣彦（映画作家）
小林 はくどう（ビデオ作家・成安造形大学客員教授）
佐藤 博昭（ビデオ作家・日本工学院専門学校講師）
高畑 勲（アニメーション映画監督）
村山匡一郎（映画評論家）

（アドバイザー）

椎名 誠（作家）
羽仁 進（映画監督）

*作品審査について

作品審査は「1次審査」を経て、「本審査」（入賞審査、公開審査／トークフォーラム）となります。

なお「1次審査」は、当 NPO の代表理事 小林はくどう、および同理事 佐藤博昭（ともに東京ビデオフェスティバル審査委員）が行います。

<「東京ビデオフェスティバル 2014」 今後のスケジュール（予定）>

■入賞 30 作品発表・公開：2014 年 12 月上旬。当法人 HP にて。

入賞 30 作品発表、および公開配信開始（Web 配信）。

*詳細は後日、当法人のホームページで発表します。

■発表・表彰式／上映会：2015 年 1 月 17 日（土）

会場：日本工学院専門学校 3 号館・10 階ホール

（住所：東京都大田区西蒲田 5-23-22）

■「ビデオ大賞」決定・発表：上記「発表・表彰式／上映会」にて実施する、審査委員による公開審査／トークフォーラムを経て、その場で決定・発表。

■「特別賞」発表：上記、「発表・表彰式／上映会」にて。

・「筑紫哲也賞」：入賞 30 作品の中からジャーナリスト故筑紫哲也氏のご遺族により選出。

・「サポーター賞」：入賞 30 作品の中から NPO 支援サポーターの投票により決定。

<NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、31 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル」(TVF/日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕)の精神を継承し、市民有志が集まって結成した団体です(設立:2009 年 11 月)。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

<東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以来通算 37 回継続開催となる映像祭です。当 NPO の主催となって今年で 6 回目を迎えます。

<「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ (NPO ホームページ) URL>

<http://tvf2010.org/>

——— <本件に関する報道関係窓口> ———

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF

担当: 事務局長 木下 秀明 【連絡先】 TEL:090-9950-2827/E-mail:tvf2015@gmail.com

〒143-0015 東京都大田区大森西 2-16-2 くらぼ大森 2F TEL:03-6404-6613/FAX:03-6404-6614